特定非営利活動法人綾瀬あがむの会第24期（令和8年度）事業計画書

令和8年4月1日より令和9年3月31日

特定非営利活動法人　綾瀬あがむの会

1．事業の方針

地域と協力して障がい者の安心安全を最優先に事業に取り組む。虐待防止の体制を整え、研修を実施して支援の質向上を図る。

「綾瀬あがむの会通信」の発行とホームページの更新を行い、活動の周知に努める。ファミールは、精神障がい者に対して日常的に通所できる場を提供し、受注作業や農作業等の生産活動や所外活動を通してコミュニケーションを図り、通所者の体力や健康を維持する機会を充実させていく。また、障がい者が地域社会の一員として地域と交流を保つことができるよう相互理解の場として地域交流の取組みを行い、地域に根付いた地域活動支援センターを目指す。

指定特定相談支援事業ファミールは、綾瀬市内の相談支援事業所と連携を図り、機能強化体制に参画し、相談支援従事者の専門的な相談支援の体制を維持し、地域のニーズに応じていく。

グループホームピースAは、入居者のニーズに適切に対応できる運営体制を更に定着させて、個々の障がいの特性に応じた支援と入居者の地域生活を支えていく。

2．事業内容

1）特定非営利活動に係る事業

① 障害者社会復帰に係る事業

【地域活動支援センター事業】

・内容

精神障がい者が通所を継続しながら日中活動や生産活動を行い、生活のリズムを作るとともに社会参加の場を広く提供する。

作業活動は受注作業の質の向上を図り、継続して自主製品作業に取組み、良質な製品作りを目指す。市内及び近隣市の精神保健福祉関係機関との連携

を充実させ、専門性をもって利用者を支援する地域支援体制を整える。「綾瀬あがむの会通信」に活動を掲載して障がい理解や普及啓発を行う。また、地域と交流を行い、障がい者の理解促進を目指し啓発の機会とする。利用者の安心と安全を優先に活動を継続させ、BCP（業務継続計画）の更新を行う。業務マニュアルの運用を図り、継続して情報を更新させていく。

・日時　　通年
・場所　　綾瀬市深谷上 1-13-5　地域活動支援センターファミール
・従事人員　　常勤兼務 2 名、非常勤 3 名
・対象者　　地域で暮らす障がい者
・支出見込み額　　18,226,094 円

② 障害者およびその家族を支援する事業

・内容

地域の障がい者や家族等が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を維持していくことができるよう相談体制を整え、制度や福祉サービス、医療等の情報提供を行い、広く支援を行う。また会員や市民向けに学習の機会を提供する。

・日時　　通年
・場所　　綾瀬市深谷上 1-13-5
・従事人員　　6 名
・対象者　　地域で暮らす障がい者及びその家族
・支出見込み額　　10,000 円

③ 障害者の安定した生活を支援する事業

【共同生活援助】

・内容

入居者の個別のニーズに応じて自立を目指した支援を行い、良質なグループホームの運営を目指す。

研修の強化を図り関係機関と連携し、入居者の地域生活を支えていく。感染症や災害等の緊急事態が発生した場合に備えて BCP(業務継続計画)について情報を更新させていく。ホーム内の防災体制の整備に常時取組み、入居者の安全や健康に留意する。また住環境の整備や点検等を実施する。

今期も地域関係者や入居者家族を交えて地域連携推進会議を開催して、地域活動の参加状況や暮らしの様子を報告する。また、ホームの活動を「綾瀬あがむの会通信」に掲載して、共同生活援助事業の理解促進を目指す。

・日時　　通年
・場所　　綾瀬市寺尾南１丁目５番16号　グループホームピースＡ
・従事人員　　常勤専従１名、常勤兼務２名、非常勤１名、
　　調理スタッフ１名
・対象者　　綾瀬市在住の精神障がい者　５名
・支出見込み額　12,523,100円

④　障害者への理解を深め、福祉を増進させるための事業
・内容
　「綾瀬あがむの会通信」の発行やホームページの更新を行い、事業の活動を広く伝え、地域と連携を深めるとともに、活動内容を関係機関に情報発信していく。地域の関係機関や社会資源と繋がり「あやともマルシェ」等の自主製品の販売機会をもってネットワークを構築し、相互に連携を図り障がい理解を目指す。
・日時　　通年
・場所　　綾瀬市民スポーツセンター他
・従事人員　　３名
・対象者　　地域で暮らす障がい者及びその家族及び市民
・支出見込み額　10,000円

⑤　障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定特定相談支援事業
【指定特定相談支援事業】
・内容
障がい当事者の希望や、地域の実情に応じてサービス等利用計画を作成し、安心した暮らしを支えながら計画相談に反映させる。相談を通して障がい者の安心した暮らしを実現する。
障がい児者相談支援センターに相談支援専門員を隔週木曜日に派遣する。また専門相談員と連携を図り、ネットワークを構築する。
指定特定相談支援は、綾瀬市内の相談支援事業所と連携して機能強化体制を整えて定着と拡充を図り、障害者や家族のサービス等利用計画の希望に応じて、計画を作成し必要な支援を提供できるよう努力する。
・日時　　通年
・場所　　綾瀬市深谷上1-13-5　ファミール
・従事人員　　非常勤１名、常勤兼務　１名

・ 対象者　　地域で暮らす障がい者
・支出見込み額　　675,000 円

⑥　障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業

【自立生活援助事業】

・内容　利用ニーズがないため 2026 年 10 月をもって事業廃止予定とする。
・日時　　通年
・場所　　綾瀬市深谷上 1-13-5　ファミール
・従事人員　　常勤兼務 2 名、非常勤 2 名
・対象者　　地域で暮らす障がい者
・支出見込み額　　5,000 円

⑦　児童福祉法に基づく障害児相談支援事業

【障害児相談支援事業】

・内容

障がい児通所支援の利用申請手続きにおいて、障がいのある児童の心身の状況や環境、または障がい児の保護者の意向などを考慮し障害児支援利用計画案の作成等を行う。また通所支援開始後に、一定の期間ごとに利用計画が適切であるかどうかのモニタリングを行い見直し等の援助を行う。
障がい児相談支援は、綾瀬市内の障害児相談支援事業所と連携して機能強化体制を整えて定着と拡充を図り、障害児や家族の利用計画の希望に応じて、計画を作成し必要な支援を提供できるよう努力する。

・日時　　通年
・場所　　綾瀬市深谷上 1-13-5　ファミール
・従事人員　　常勤 1 名、非常勤 1 名
・対象者　　地域で暮らす障がい児
・支出見込み額　　25,000 円

特定非営利活動法人綾瀬あがむの会第25期（令和9年度）事業計画書

令和9年4月1日より令和10年3月31日

特定非営利活動法人　綾瀬あがむの会

1．事業の方針

地域と協力して障がい者の安心安全を最優先に事業に取り組む。虐待防止の体制を整え、研修を実施して支援の質向上を図る。

「綾瀬あがむの会通信」の発行とホームページの更新を行い、活動の周知に努める。ファミールは、精神障がい者に対して日常的に通所できる場を提供し、受注作業や農作業等の生産活動や所外活動を通してコミュニケーションを図り、通所者の体力や健康を維持する機会を充実させていく。また、障がい者が地域社会の一員として地域と交流を保つことができるよう相互理解の場として地域交流の取組みを行い、地域に根付いた地域活動支援センターを目指す。

指定特定相談支援事業ファミール及び障害児相談支援事業所ファミールは、綾瀬市内の相談支援事業所と連携を図り、機能強化体制に参画し、相談支援従事者の専門的な相談支援の体制を維持し、地域のニーズに応じていく。

グループホームピースAは、入居者のニーズに適切に対応できる運営体制を更に定着させて、個々の障がいの特性に応じた支援と入居者の地域生活を支えていく。

2．事業内容

1）特定非営利活動に係る事業

① 障害者社会復帰に係る事業

【地域活動支援センター事業】

・内容

精神障がい者が通所を継続しながら日中活動や生産活動を行い、生活のリズムを作るとともに社会参加の場を広く提供する。

作業活動は受注作業の質の向上を図り、継続して自主製品作業に取組み、良質な製品作りを目指す。市内及び近隣市の精神保健福祉関係機関との連携

を充実させ、専門性をもって利用者を支援する地域支援体制を整える。利用者の安心と安全を優先に活動を継続させ、BCP（業務継続計画）の更新を行う。業務マニュアルの運用を図り、継続して情報を更新させていく。

・日時　　通年
・場所　　綾瀬市深谷上 1-13-5　地域活動支援センターファミール
・従事人員　　常勤兼務 2 名、非常勤 3 名
・対象者　　地域で暮らす障がい者
・支出見込み額　　19,050,874 円

② 障害者およびその家族を支援する事業

・内容

地域の障がい者や家族等が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を維持していくことができるよう、会員や市民向けに学習の機会を提供する。「綾瀬あがむの会通信」に法人の活動を掲載して障がい理解や普及啓発を行う。また、地域と交流を行い、障がい者の理解促進を目指し啓発の機会とする。

・日時　　通年
・場所　　綾瀬市深谷上 1-13-5
・従事人員　　6 名
・対象者　　地域で暮らす障がい者及びその家族
・支出見込み額　　10,000 円

③ 障害者の安定した生活を支援する事業

・内容

地域の障がい者や家族等が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を維持していくことができるよう相談体制を整え、制度や福祉サービス、医療等の情報提供を行い、関係機関とも連携し広く支援を行う。

・日時　　通年
・場所　　綾瀬市深谷上 1-13-5
・従事人員　　6 名
・対象者　　地域で暮らす障がい者及びその家族
・支出見込み額　　10,000 円

④　障害者への理解を深め、福祉を増進させるための事業

・内容

「綾瀬あがむの会通信」の発行やホームページの更新を行い、事業の活動を広く伝え、地域と連携を深めるとともに、活動内容を関係機関に情報発信していく。地域の関係機関や社会資源と繋がり「あやともマルシェ」等の自主製品の販売機会をもってネットワークを構築し、相互に連携を図り障がい理解を目指す。

・日時　　通年
・場所　　綾瀬市民スポーツセンター他
・従事人員　　3名
・対象者　　地域で暮らす障がい者及びその家族及び市民
・支出見込み額　　10,000円

⑤　障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定特定相談支援事業

【指定特定相談支援事業】

・内容

障がい当事者の希望や、地域の実情に応じてサービス等利用計画を作成し、安心した暮らしを支えながら計画相談に反映させる。相談を通して障がい者の安心した暮らしを実現する。

障がい児者相談支援センターに相談支援専門員を隔週木曜日に派遣する。また専門相談員と連携を図り、ネットワークを構築する。

指定特定相談支援は、綾瀬市内の相談支援事業所と連携して機能強化体制を整えて定着と拡充を図り、障害者や家族のサービス等利用計画の希望に応じて、計画を作成し必要な支援を提供できるよう努力する。

・日時　　通年
・場所　　綾瀬市深谷上1-13-5　ファミール
・従事人員　　常勤1名、非常勤　1名
・対象者　　地域で暮らす障がい者
・支出見込み額　　800,000円

⑥　障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業

【共同生活援助】

・内容

入居者の個別のニーズに応じて自立を目指した支援を行い、良質なグループホームの運営を目指す。

研修の強化を図り関係機関と連携し、入居者の地域生活を支えていく。感染症や災害等の緊急事態が発生した場合に備えて BCP(業務継続計画)について情報を更新させていく。ホーム内の防災体制の整備に常時取組み、入居者の安全や健康に留意する。また住環境の整備や点検等を実施する。

今期も地域関係者や入居者家族を交えて地域連携推進会議を開催して、地域活動の参加状況や暮らしの様子を報告する。また、ホームの活動を「綾瀬あがむの会通信」に掲載して、共同生活援助事業の理解促進を目指す。

・日時　　通年
・場所　　綾瀬市寺尾南１丁目５番16号　グループホームピースＡ
・従事人員　　常勤専従１名、常勤兼務２名、非常勤１名、
　　調理スタッフ１名０
・対象者　　綾瀬市在住の精神障がい者　５名
・支出見込み額　12,523,100円

⑦　児童福祉法に基づく障害児相談支援事業

【障害児相談支援事業】

・内容

障がい児通所支援の利用申請手続きにおいて、障がいのある児童の心身の状況や環境、または障がい児の保護者の意向などを考慮し障害児支援利用計画案の作成等を行う。また通所支援開始後に、一定の期間ごとに利用計画が適切であるかどうかのモニタリングを行い見直し等の援助を行う。

障がい児相談支援は、綾瀬市内の障害児相談支援事業所と連携して機能強化体制を整えて定着と拡充を図り、障害児や家族の利用計画の希望に応じて、計画を作成し必要な支援を提供できるよう努力する。

・日時　　通年
・場所　　綾瀬市深谷上1-13-5　ファミール
・従事人員　　常勤１名、非常勤　１名
・対象者　　地域で暮らす障がい児
・支出見込み額　200,000円

活 動 予 算 書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

特定非営利活動法人　綾瀬あがむの会

単位（円）

科目	金額		
Ⅰ経常収益			
1.受取会費			
正会員受取会費	170,000		
賛助会員受取会費	20,000	190,000	
2.受取寄付金			
受取寄付金		64,000	
3.受取助成金等			
受取地方公共団体補助金		14,561,000	
4.障害福祉サービス事業収益			
自立支援費等収益	10,020,000		
利用者負担金収益	3,274,000		
受注事業収益	715,000	14,009,000	
5.事業収益			
作業工賃収益		650,000	
6.その他収益			
受取利息配当金収益	200		
雑収益	92,200	92,400	
経常収益計			29,566,400
Ⅱ経常費用			
1.事業費			
(1)人件費			
職員給与	7,082,700		
職員手当	3,888,280		
非常勤職員給与	5,731,400		
法定福利費	1,966,000		
福利厚生費	116,600		
退職共済掛け金	336,000		
支払報酬	93,300		
人件費計	19,214,280		
(2)その他経費			
旅費交通費	110,000		
消耗品費	300,000		
燃料費	108,000		
水道光熱費	600,000		
修繕費	100,000		
通信運搬費	996,000		
手数料	60,000		

科目	金額		
損害保険料	306,840		
業務委託費	881,400		
地代家賃	2,402,400		
器具什器費	250,000		
負担金	250,000		
研修費	72,000		
車両費	573,440		
諸会費	68,000		
会議費	4,000		
雑費	84,470		
賃借料	552,000		
予備費	36,364		
減価償却費	2,471,000		
賄材料費	1,080,000		
給食費	14,000		
通所者工賃	585,000		
材料費	65,000		
事業旅費交通費	20,000		
保健衛生費	4,000		
消耗品費(事業)	4,000		
余暇活動費	10,000		
教養娯楽費	150,000		
雑費(事業)	2,000		
事業費(事務局)	100,000		
その他経費計	12,259,914		
事業費計		31,474,194	
2.管理費			
(1)人件費			
職員手当	120,000		
人件費計	120,000		
(2)その他経費			
事務費(事務局)	226,000		
予備費	50,000		
その他経費計	276,000		
管理費計		396,000	
経常費用計			31,870,194
当期経常増減額			▲ 2,303,794
当期正味財産増減額			▲ 2,303,794
前期繰越正味財産額			15,570,710
次期繰越正味財産額			13,266,916

活 動 予 算 書

令和9年4月1日から令和10年3月31日まで

特定非営利活動法人　綾瀬あがむの会

単位（円）

科目	金額		
Ⅰ経常収益			
1.受取会費			
正会員受取会費	170,000		
賛助会員受取会費	20,000	190,000	
2.受取寄付金			
受取寄付金		64,000	
3.受取助成金等			
受取地方公共団体補助金		19,144,000	
4.障害福祉サービス事業収益			
自立支援費等収益	10,320,000		
利用者負担金収益	3,274,000		
受注事業収益	715,000	14,309,000	
5.事業収益			
作業工賃収益		650,000	
6.その他収益			
受取利息配当金収益	200		
雑収益	92,200	92,400	
経常収益計			34,449,400
Ⅱ経常費用			
1.事業費			
(1)人件費			
職員給与	7,275,600		
職員手当	4,083,120		
非常勤職員給与	6,399,440		
法定福利費	1,990,000		
福利厚生費	116,600		
退職共済掛け金	336,000		
支払報酬	93,300		
人件費計	20,294,060		
(2)その他経費			
旅費交通費	110,000		
消耗品費	300,000		
燃料費	108,000		
水道光熱費	600,000		
修繕費	100,000		
通信運搬費	996,000		
手数料	60,000		

科目	金額		
損害保険料	306,840		
業務委託費	881,400		
地代家賃	2,402,400		
器具什器費	300,000		
負担金	250,000		
研修費	72,000		
車両費	573,440		
諸会費	68,000		
会議費	4,000		
雑費	84,470		
賃借料	552,000		
予備費	36,364		
減価償却費	2,471,000		
賄材料費	1,080,000		
給食費	14,000		
通所者工賃	585,000		
材料費	65,000		
事業旅費交通費	20,000		
保健衛生費	4,000		
消耗品費(事業)	4,000		
余暇活動費	10,000		
教養娯楽費	150,000		
雑費(事業)	2,000		
事業費(事務局)	100,000		
その他経費計	12,309,914		
事業費計		32,603,974	
2.管理費			
(1)人件費			
職員手当	120,000		
人件費計	120,000		
(2)その他経費			
事務費(事務局)	226,000		
予備費	50,000		
その他経費計	276,000		
管理費計		396,000	
経常費用計			32,999,974
当期経常増減額			1,449,426
当期正味財産増減額			1,449,426
前期繰越正味財産額			13,266,916
次期繰越正味財産額			14,716,342